

税制
優遇

令和4年度 杉並区 NPO活動資金 助成報告書



「社会のスキマ」を埋めるNPO活動を、
寄附で応援してみませんか。



●令和5年度 杉並区NPO活動資金助成事業 概要●

■助成対象事業

🏠 スタートアップ事業

設立5年未満の団体が、活動の基盤強化のために行う事業

👣 ステップアップ事業

団体活動の発展のために行い、将来的に区や他団体との連携・協働が期待できる事業

■助成額

上限30万円(1事業) 総額200万円

■審査方法

一次:書類審査 二次:プレゼンテーション

■助成の流れ

令和5年2~4月	4~6月	令和6年2月	3月	4月
募集 2/15~4/7 説明会 3/8	一次審査 二次審査 5/25(予定) 交付決定(通知) 助成金支払	事業実施・視察 (~令和6年2月)	事業報告書提出 助成金精算	5年度助成事業報告会 (4月予定)

■対象団体

- ①NPO法人、またはすぎなみ地域大学修了生が代表を務め、かつ修了生5名以上で構成される法人格を有していない設立から5年未満の団体
- ②主たる事務所を区内に有する、または区民対象の事業を行う団体
- ③反社会的勢力及び反社会的勢力と密接な関係にない団体
- ④無差別大量殺人行為を行っていない団体
- ⑤助成金の交付を2年連続で受けていない団体

■助成対象期間

交付決定日(6月上旬予定)~令和6年2月29日

※事業実施に関わる準備経費については5年4月1日以降を対象とする。

●杉並区NPO支援基金への寄附は●

杉並区NPO支援基金リーフレットに 付いている払込取扱票を使って

郵便局からご寄附いただけます。リーフレットは、区役所、区民事務所、すぎなみ協働プラザなどに置いてあります。



窓口でご寄附いただく場合

地域課協働推進係へお越しください。
その場でご寄附いただけます。

銀行からご寄附いただく場合

地域課協働推進係<03-3312-2381>へお電話ください。
ゆうちょ銀行以外の金融機関からご寄附いただける納付書をお送りいたします。

インターネットからご寄附いただく場合

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の『杉並区』ページにアクセスしてください。



杉並区 ふるさとチョイス 検索

寄附には税制上の優遇があります

杉並区NPO支援基金への寄附は、「ふるさと納税」として取り扱われ、所得税・個人住民税からの控除を受けることができます。

●令和4年度にご寄附をいただいた皆様(50音順・敬称略)●

- NPO支援基金普及活動協力者
- 加藤 芳子
- NPO法人 グローイングピープルズウィル
- NPO法人 COSMO FEST
- さくら野町会
- 杉並音のわConcert
- 低引 稔
- NPO法人 DANKAIプロジェクト
- NPO法人 まちのおやこテーブル
- NPO法人 モナミセブン
- 山城 隆盛

ほかに匿名・複数回寄附など..... 40件
 総寄附件数..... 51件
寄附合計額..... 683,941円



寄附のお申し出・お問い合わせは

杉並区区民生活部地域課協働推進係

杉並区成田東4-36-13 杉並区役所分庁舎2階 ☎ 03-3312-2381 FAX 03-3312-2387

令和4年度も多くの皆さまにご寄附をいただき、 ありがとうございました。

子どもの健全育成、高齢者・障害者への支援、環境・まちづくり推進など、様々な分野に、行政の支援が行き届かない「社会のスキマ」ともいえる課題が潜んでいます。その課題解決に取り組む地域のNPO活動を応援するのがNPO支援基金です。皆さまから寄せられた寄附を活用して、NPOの地域貢献活動に助成金を交付しています。

令和4年度は、NPO9団体に対して総額973,777円を助成しました。
子どもの権利について考える講演会や多世代のコミュニティづくりのためのイベントのほか、視覚障害者の移動支援事業などが実施され、多くの参加者を集めました。

令和4年度の助成事業紹介

平成14年～令和4年度の累計

- 寄附額:約3,934万円
- 寄附件数:750件
- 助成事業:238件

令和4年度

寄附総額……………**683,941**円
寄附件数……………**51**件
助成事業……………**9**件

子どもの権利と子どもアドボカシーを知る集い

NPO法人 子どもアドボカシーをすすめる会TOKYO

☎03-5335-7930 ✉info@childadvocacy.jp 🌐https://www.childadvocacy.jp/index.html

子どもアドボカシー(子どもが思いや意見を表明できるよう支える活動)を地域に広めるために、講演会「子どもアドボカシーを知っていますか?」を開催しました。様々な立場の参加者が、子どもアドボカシーの本質や枠組を学び、その大切さを確認する機会になったと感じています。

また、子どもが参加する「子どもの権利を知るワークショップ」を開催し、すべての子どもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利を持っていることを皆で共有することができました。本ワークショップの開催が、今後も子どもを主体としたワークショップを展開していくための第一歩となりました。

【事業区分】 スタートアップ
【助成額】185,200円



食育推進プロジェクト 栄養素を知れば体は丈夫になる

すぎなみ食育推進の会

✉sugisyoku.hotta@gmail.com 🌐https://www.sugi-chiiki.com/syokuiku-suisin/

「楽しく学ぶ食育」をモットーに、食育をテーマにした、講演会、ワークショップ及び体験型学習会を開催しました。講演会では、様々な世代の方々に参加いただき、食物の栄養素のほか、世代・性差ごとの体内での代謝についてお話ししました。ワークショップでは、身近にある旬の食材を用い、栄養素と見た目の観点から食材の見極め方について考えました。体験型学習会では、当会が耕作する畑で夏野菜を収穫し、協賛をいただいた食堂で調理・実食までを行いました。

これらの活動を通じて、参加者、協賛団体、区及び社会福祉協議会と関係づくりをすることができました。

【事業区分】 スタートアップ
【助成額】41,909円



ボウサイおそうじ大作戦!

NPO法人 防災コミュニティネットワーク

☎050-3612-4429 ✉info@bosaicn.net 🌐https://bosaicn.net

気軽に、身近に、楽しく防災活動を体験できるレッツボウサイプロジェクト。2年目となる令和4年度は、「ボウサイおそうじ大作戦!」を実施しました。防災視点を取り入れた地域清掃活動を行い、普段の生活ではあまり意識することがない防災標識や消火栓の位置の確認と地域の危険個所の把握に努めました。本事業では地域の町会との連携にも力を入れ、安心安全に住み続けられるまちづくりや防災活動を通じたコミュニティづくりのために、若い世代のボランティアと町会の方々が一緒に清掃活動を行いました。

【事業区分】 スタートアップ
【助成額】228,868円



多世代コミュニティ事業「まちの持ち寄りカレッジ」

NPO法人 まちのおやこテーブル

✉info@machinooyako.com 🌐https://machinooyako.com

知りたいことはまちの誰かが知っている。ご近所で経験を持ち寄ることで学びとつながりを生むコミュニティとして「まちの持ち寄りカレッジ」を立ち上げ、令和4年度は2つのクラスを開催しました。

「パパビギナークラス」では、子育て中のパパやプレパパが先輩パパとじっくり対話し、「子育て中の当事者同士で話をする機会がなかった」、「知らない世界が広がった」と好評をいただきました。「すぎなみ魅力発見クラス」では、転入して間もない方、長く暮らす方、杉並が好きで戻ってきた方など年代を超えて杉並好きが集まり、区内のおすすめスポットをエピソードを交えて共有しながらオリジナルマップを作成。その結果、多世代が交流する場が生まれました。

【事業区分】 スタートアップ
【助成額】38,185円



親や先生に知ってほしい「子どもの高次脳機能障害」

NPO法人 モナミセブン

✉monami7.2021@gmail.com 🌐https://monamiseven.org

高次脳機能障害は、頭の病気やケガが原因で発症し、子どもから高齢者まで、誰もがなるかもしれない中途障害です。しかしながら社会的な認知度が低いのが現状で、継続的な啓発活動が必要です。令和4年度はNPO活動資金の助成を受けて、あまり知られていない「子どもの高次脳機能障害」をテーマに講演会・シンポジウムを開催し、教育関係者や福祉従事者等のほか、一般の区民の方々にもご参加いただきました。また、講演内容をもとに、高次脳機能障害を理解するためのリーフレットの作成・配布を行いました。今回の活動を通じて、多くの方々に子どもの高次脳機能障害について知っていただく機会ができました。

【事業区分】 スタートアップ
【助成額】200,000円



久我山イマ→ミライ学校～多世代で創る地域の環

NPO法人 久我山からー

☎03-5941-3443 ✉kugayamacolor@gmail.com 🌐http://www.officekugayama.co.jp/

地域の子育て支援の一つとして、久我山周辺の子育て中の家庭に、食の安全面を考慮した「久我山子ども弁当」を1個300円で提供しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症や食中毒との兼ね合いで、十分な活動はできませんでした。また、お弁当提供と連動して多世代交流活動を予定していましたが、集客不足で実施できませんでした。

そのような中でも、活動を通じて地域の子育て家庭向けのお弁当ニーズがある事は明らかになり、提供体制の確保も十分にできることが分かりました。提供場所や周知方法を検討しつつ、今後も継続していきたいと考えています。

【事業区分】 ステップアップ
【助成額】17,015円



ICTを活用した移動制約者のための移動円滑化計画

NPO法人 グローイングピープルズウィル

☎03-4285-9727 ✉willgpw@gmail.com 🌐http://gpw.sakura.ne.jp/

ウィンドーショッピング中に目についたお店に入ってみる。晴眼者にとっては当たり前の行動です。しかし、視覚障害者にはできません。

この「できないこと」を解決するため、視覚障害者を対象とした実証実験として、JR阿佐ヶ谷駅から阿佐谷地域区民センターまでの高架下商店街及び阿佐谷地域区民センター内で、ICTを活用した移動支援の案内システム「Navilens(ナビレンス)」による音声での情報提供と誘導を行いました。

実験の結果、視覚障害者にとって、沿道情報の取得については有用であることが確認できましたが、視覚障害者の誘導装置として音情報に頼ることの危険性も判明しました。今回の結果を受け、今後も視覚障害者への支援を進めていきます。

【事業区分】 ステップアップ
【助成額】150,000円



みんなの食堂ルンルンとルンルン学習室

NPO法人 DANKAIプロジェクト

✉runrun.shokudo@gmail.com 🌐https://blog.canpan.info/runrun/

令和3年度に引き続き、子ども食堂(ルンルン学習室とみんなの食堂ルンルン)を毎週水曜日に開催しました。今年度も学習室の運営に七夕祭り、防災教室、クリスマス会、書初めなどのイベントを取り入れ、2月未までに28回開催し、延べ参加者は小学生102名、食事提供が231食でした。そのほか、フードパントリーを4回(合計80名参加)実施するなど、令和3年度からのステップアップを図りました。また、自己資金で夏に2泊3日の自然体験教室(10名参加)を福島県会津自然の家で開催し、子どもたちは森の散歩、カヌー体験や草そり、バーベキューなどを楽しみました。

【事業区分】 ステップアップ
【助成額】112,600円



つながって 支え合おう 杉並プロジェクト

NPO法人 てんぐるま

☎080-4417-1831 ✉info@tenguruma.org 🌐https://www.tenguruma.org/

障害児とその家族を対象に、交流や仲間づくりの支援、メンタルサポート、悩み相談及び情報提供などを目的とした月1回のベビーマッサージ及びベビーハンドサインの継続的なサークル活動のほか、小児科医の講演会を企画しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、スキンシップを中心としたイベント内容に対する小さなお子さんを持つ保護者の不安が強く、度重なる開催日の延期の末、開催中止という決断をせざるを得ませんでした。

今後も障害児やその家族をエンパワメント(その人が本来持つ能力や権限を発揮)できるような活動を実現できたらと考えています。

【事業区分】 ステップアップ
【助成額】0円

